

徳島県動物愛護管理推進計画(素案)に関する意見等の概要及び意見に対する考え方について

課題への取組に関する意見(16名 70件)

1. 動物の適正飼養の啓発と徹底(37件)

事項	いただいたご意見等の概要	数	ご意見に対する県の考え方
狂犬病予防注射と登録	狂犬病予防注射の接種率を100%にすべき。	1	狂犬病予防注射接種率の向上と登録による飼い犬の把握は、狂犬病の国内侵入時のまん延防止に大変重要であると認識しております。「施策1-1 犬の登録と狂犬病予防注射」に記載のとおり取り組み、啓発に努めてまいります。
	新たに飼い主となる時、狂犬病予防接種時に、積極的に鑑札や狂犬病予防接種済票の装着の指導を行うこと。	1	
不妊去勢手術	去勢の補助金を良く知らない人も多いので、もっと広報してほしい。	1	「施策1-3 不妊去勢手術の普及」に記載のとおり周知に取り組むとともに、手術の無料化については、ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
	犬、猫の不妊手術(オスもメスも)を税金で無料にして欲しい。	2	
	無償で野良猫の不妊去勢手術をしてほしい。	1	
マイクロチップの推進	マイクロチップ装着の普及啓発をもっとして欲しい。	2	所有者明示方法において、マイクロチップの装着は非常に有効な方法であると認識しております。「施策2-1 飼い主への返還の推進」に記載のとおり取り組み、県内で譲渡、販売される全ての犬・猫へのマイクロチップ装着を目指してまいります。
	マイクロチップの装着については、国の義務化を待つことなく、県の条例などを制定し、義務化に近い積極的な取り組みを行うこと。	1	
適正飼養	飼い主の責任に重きを置いた、積極的かつ具体的な計画を立てて頂きたい。	1	ご意見を踏まえ、「施策1-4 犬・猫の終生飼養の推進」に記載のとおり、適正飼養の普及啓発に努めるとともに、飼い主責任の徹底に向けて取り組んでまいります。
	適正飼養の呼びかけをテレビや広報誌でも行うこと。	1	
	終生飼養や動物を飼う上でのマナーなどの飼い主責任に関し、罰金などの強い措置も含めて指導すること。	10	
	飼い犬や飼い猫がいなくなった時の連絡先を日頃から知らせること。	1	
飼養者登録制度	生き物を責任持って飼うためには登録制度、免許制度にしたら良い。	3	
收容動物の返還対策	センターに收容されている犬、猫の情報、検索願いが出ている犬猫の情報を発信して欲しい。	1	ご意見を踏まえ、当センターホームページにおける收容動物、行方不明動物、一般の方の犬猫保護情報掲載を継続するとともに、新聞やケーブルテレビを活用した情報発信により一層努めてまいります。
多頭飼育対策	多頭飼育者を把握し、適切に指導して欲しい。	1	「施策1-2 犬・猫等による迷惑行為対策」に記載のとおり、市町村等関係団体と連携し、多頭飼育の実態把握に努めるとともに、飼育者への助言、指導を行ってまいります。

動物遺棄	飼い主が高齢化で飼えなくなった場合の譲渡や斡旋などマッチングの機会を設けること。	3	ご意見を踏まえ、「施策1-4 犬・猫の終生飼養の推進」に記載の飼い主の高齢化による飼育継続困難な場合の支援体制として、「譲渡、斡旋の機会を設けるなど」を記載いたします。
	犬を捨てる人には罰金を取って欲しい。	1	
虐待取締	アニマルポリスと虐待通報テレホンの新設飼養放棄、動物虐待、悪徳ブリーダーに対する取り締まりの強化。	2	「施策1-6 動物遺棄・虐待防止対策」に記載のとおり、市町村や警察と連携して遺棄、虐待が犯罪であることを周知するとともに、アニマルポリス、レスキュー隊については、ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
動物保護	アメリカ(カナダ?)では動物のレスキュー隊がいて虐待されている犬も保護していますが、徳島でもできたらいい。	1	
飼い主のいない猫対策	地域ねこ等の避妊手術等の活動を知らなかった。もっと広報を。	1	「施策1-7 地域猫活動の推進」に記載のとおり、市町村等関係団体の取組を促進するとともに、ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
	公園や港で生活している野良猫に対するTNR活動の本格的実施 野良猫の多い場所を町内会や県民などから情報提供してもらい、県と市町村、地域ごとのボランティアでチームを編成し、具体策を検討、実施する。	1	
	猫をつかまえ避妊し、すぐ居無くなった。不幸な猫がふえずよかった。兎にも角にも避妊が全て、方法を考えたい。	1	

2. 助けられる犬・猫の殺処分ゼロに向けての取組(3件)

事項	いただいたご意見等の概要	数	ご意見に対する県の考え方
譲渡	きずなの里のマッチングスペースは実際に自宅にいるかのような空間で動物と接することができ、とても良いと感じます。さらなる活用を期待します。	1	ご意見を踏まえ、「施策2-2 新しい飼い主への譲渡の促進」に記載のとおり取り組むとともに、「きずなの里」をさらに活用してまいります。
殺処分の現状	殺処分頭数は減少しているが、もっとすすめて欲しい。	2	

3. 災害対策をはじめとする危機管理対応(1件)

事項	いただいたご意見等の概要	数	ご意見に対する県の考え方
避難訓練	飼い犬や飼い猫を連れた避難訓練の実施。	1	ご意見を踏まえ、「施策3-1 災害時における動物の救護対策」に記載のとおり取り組むとともに、ペット同行避難訓練を推進してまいります。

4. 事業者等による動物の適正な取扱いの推進(5件)

事項	いただいたご意見等の概要	数	ご意見に対する県の考え方
取扱業規制強化	動物を売るのをやめて欲しい。	1	「施策4-1 動物取扱業の適正化」に記載のとおり、事業者の規模や業態を勘案した効率的かつ効果的な監視に取り組むとともに、ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。
	ブリーダーの免許をこれからは許可しないで段々ブリーダーの数を減らしつつ、現在許可を受けているブリーダーの方の施設や設備の基準(規準)を厳しくして、ブリーダーという職業がお金儲けにならないようにしていけばいいのではないのでしょうか。	1	
	動物を飼育するには免許が必要。ブリーダーの定期的な監査。免許停止強化。	1	
	具体的な監視指導実施内容の記載を希望します。(どのくらいの定期で・どのような方法で監視指導が入るのかなど。)	1	
動物検疫	海外から珍しい動物を輸入する場合もあると思うので、検疫はきちんと行ってほしい。	1	海外からの輸入動物は動物検疫所で検疫を受けますが、ご意見を踏まえ、「施策3-2 人と動物の共通感染症対策」に記載のとおり、県内の輸入動物、野生動物を含めた人と動物の共通感染症対策に積極的に取り組んでまいります。

5. 多様な活動主体との連携、協働の推進(15件)

事項	いただいたご意見等の概要	数	ご意見に対する県の考え方
SNS利用	SNSを活用した情報発信の促進を期待します。	1	ご意見を踏まえ、今後の情報発信方法を検討させていただきます。
啓発	センターの存在を知らない人が多いと思うのでもう少しPRした方がいい。	1	
ボランティア連携	行政だけではすべてできないと思うので、民間や県民との連携を大事にしてほしい。	1	ご意見を踏まえ、「施策5-1 人材育成と連携、協働による活動の推進」に記載のとおり、各関係機関、団体とより一層の連携、協働に取り組むとともに、ボランティアへの情報提供、支援強化方法を検討してまいります。
	ボランティア登録者にもっと情報を提供頂きたい。動物愛護センターへボランティアとして登録しています。ボランティア登録者は都合がいい日にセンターへ連絡して参加する形ですが、HPを見る限りどんなボランティア活動なのか分かりづらいと感じます。「〇〇ボランティア募集」といったような具体的にどの分野のボランティアが必要とされているのか(どの分野の不足だと思いますが)、参加者が分野を選択して応募できるような方法やいついつにどんなイベントがあるため、ボランティアが必要といった情報提示があったほうが、力を発揮できる分野を選択でき、活動が想像できやすいためボランティア参加者もモチベーションが上がり集まりやすいのではないのでしょうか！	1	

ボランティア啓発	ボランティアへの支援も強化していただきたいです。一般人が参加可能な研修等ももっとたくさん行なってほしいです。	1	ご意見を踏まえ、「施策5-1 人材育成と連携、協働による活動の推進」に記載のとおり、各関係機関、団体とより一層の連携、協働に取り組むとともに、ボランティアへの情報提供、支援強化方法を検討してまいります。
	やむを得ない理由で犬や猫を飼えなくなった時の、受け皿作り終生飼養に必要な費用を徴収した上で、飼養したり、里親が見つかるまで過ごすことができる施設の新設や仕組みづくり。(ふるさと納税や動物愛護基金を利用)保護犬や保護猫を飼養しているNPO法人や個人への資金援助。	1	
動物保護団体	遊休土地を安価、無償で愛護団体に賃貸。	1	
愛護団体	動物を世話することで命の大切さを覚えると思うので取り入れてほしいですね。	1	
学校飼育動物	動物愛護は特に子供達の関心を得やすい事業だと思います。「ふれあい移動教室」を継続し、さらに関心をもってもらうことが大切だと思います。	1	
学校での動物愛護教育	学校の授業でももっととりあげるべき。	2	
	犬や猫をかわいがるだけでなく、排せつ物の処理や「病気」「しつけ」など時間とお金がかかることも啓発すべき。	1	
	犬や猫などが怖い子には怖いなりの犬や猫への対処の仕方も学べるようであればよいと思います。	1	
	小学生、中学校への命の授業早い時期に県下全域で実施できる体制づくり。	1	
	日本ではペットショップで犬や猫が値段をつけられて命を売られています。とても違和感を覚えます。犬猫の種類によって値段があるという感覚を子供たちには持ってほしくありません。	1	

6. その他(9件)

事項	いただいたご意見等の概要	数	ご意見に対する県の考え方
計画について	今後の取り組みについて、期限や数字を定めるなど具体的に書くべき。	1	ご意見を踏まえ、「県内で譲渡、販売される犬・猫のマイクロチップ装着率」、「助けられる犬・猫の譲渡及び返還頭数割合」を表で記載いたします。
	用語集を最後にでもつけるべき。	1	ご意見を踏まえ、巻末に用語解説を記載いたします。
啓発	みんな現状を知らないのだと思うのでパンフレットなどでもっとPRすべき。	3	ご意見を今後の取組における参考とさせていただきます。
	催し会場での広報活動。(ゆうちゃん、あいちゃんの着ぐるみがあると効果的)・動物管理センターでのチャリティー音楽コンサートやオリエンテーリングの実施。	1	
	子供が読んでも理解できる、犬や猫の立場に立った、具体的で温かみのある推進計画となりますよう、期待しております。	1	

計画全体	センターをもっと大きくして動物パークのようにしてみてもどうか。	1	ご意見を今後の取組における参考とさせていただきます。
その他	写真に癒やされる。	1	